

肺腫瘍・縦隔腫瘍切除術を受けられる患者さんへ

患者ID
氏名

担当医
担当看護師
配布日

	入院:1病日 手術1日前	2病日 手術当日(手術前)	3病日 手術当日(手術後)	4～5病日 手術後1日目	6～7病日:退院 手術後2～3日目	6～7病日:退院 手術後4～5日目	【退院後の生活について】
達成目標	・手術後の経過について理解できる		・めまいや失神、動悸がない ・痛みによる苦痛がない ・ドレーンが固定できている	・ドレーン抜去部に発赤・腫れ・出血・浸出液がない		・退院指導の内容を理解できる	(内服薬について) ・痛みは我慢せずに鎮痛剤を内服してください。追加で内服する場合は、間隔を6時間はあけてください (活動について) ・手術をした方の腕は動かさないと腕の関節が硬くなり、上半身の筋力低下を起こします。無理のない程度に肩関節と上半身の運動を続けてください ・胸郭を広げるストレッチも自分のペースで継続してください。痰を出しやすくします ・仕事を始める時期には個人差がありますので、医師と相談してください
内服	・薬剤師が、持参薬および服薬状況について確認します		・鎮痛薬を内服します(毎食後、眠前)		・胃薬を内服します(朝食後)(3日間)		
手術		手術 					
注射		・手術が2番目以降の方は病棟で点滴をします 		・点滴を抜きます			
検査			・採血 ・レントゲン 	・採血 ・レントゲン 	・採血/レントゲン(手術後3日目) 		(飲食について) ・食べ過ぎは横隔膜を押し上げ呼吸を浅くするため、腹八分目を心がけてください ・水分を摂ることは痰をスムーズに出すためにも必要です。ただし、飲水制限のある方は、指示量をお守りください
処置		・弾性ストッキングを着用します	・フットポンプをつけます	・フットポンプを外します ・歩行後は、弾性ストッキングを脱ぎます		・創部の確認をします	(入浴について) ・入浴は、手術後の筋肉のこわばり予防し、傷口を温めることで痛みを和らげる効果があります ・創部を洗う時は、石鹸やボディソープをしっかり泡立てて、こすらず優しくなでるように洗い、シャワーで流した後はおさえ拭きをしてください
食事	・夕食後は、指示された時間から飲食はできません	・飲食はできません 	・17時から飲水できます。初めて飲水する時は看護師が助助します ・18時にカロリーメイトを飲んでもらいます。その後、夕食(全粥食)を食べます	・制限はありません 			以下の症状がある時はご連絡ください ・創部が化膿したり、赤く腫れている ・痰の量が増えた ・赤いさらさらした痰が出る ・咳が続く ・38.0度以上の発熱がある ・動悸、息切れがある
活動・安静	・制限はありません	・病室内でお過ごしください	・ベッド上安静です ・排泄の時はポータブルトイレを使用しますので、ナースコールでお知らせください	・制限はありません ・初めて歩くときは看護師が付き添いますので、ナースコールでお知らせください			
清潔	・シャワー浴をしてください 	・洗面、歯磨きを済ませてください	・看護師の介助で、歯磨き、顔拭きをします	・身体を拭きます	・シャワー浴ができます		【緊急連絡先】 ・平日時間内 (8:30～17:00) 呼吸器外科外来 :0985-85-9885 総合予約室 :0985-85-1225
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が手術の説明をします ・手術室の看護師が、手術に伴う確認や諸説明をします ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します ・術前オリエンテーションを行います				・退院後の生活について説明します ・呼吸機能の低下を防ぐため、胸郭を広げるストレッチの方法を説明します		・土日・祝日、時間外 3階東病棟 :0985-85-1769
その他	・手術の同意書は職員にお渡しください ・爪を切り、マニキュアは落としてください ・化粧を落としてください	・手術衣に着替えます ・義歯、コンタクトレンズ、時計、アクセサリ等は外し、保管してください ・貴重品は、ご自身又はご家族で管理してください ・ご家族は、3階デイルーム・面談室で待機してください。場所を移動される時は必ず職員へお声掛けください	・医師の許可後、うがいにはできます ・痛みがあれば鎮痛剤を追加で使用できますので、我慢せずにお知らせください				

診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。